

小数の倍 単元計画【新しい算数5上 東京書籍】

単元の目標	(1) 基準量や比較量が小数の場合の倍の意味や簡単な割合による比較について理解し、「基準量」や「比較量」、「倍」を求めたり、割合で比較したりすることができる。 (2) 2量の関係に着目し、基準量や比較量が小数の場合の倍の意味を捉え直すとともに、簡単な割合による比較の仕方について図や式などを用いて考え表現している。 (3) 基準量や比較量が小数の場合を考えるを通して倍の意味について捉え直し、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。					
	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
単元の評価規準	①基準量や比較量が小数の場合の倍の意味や簡単な割合による比較について理解している。 ②倍を表す数が小数の場合の「基準量」や「比較量」、「倍」を求めたり、割合で比較したりすることができる。		①2量の関係に着目し、基準量や比較量が小数である場合まで数の範囲を広げて倍の意味を捉え直し、それらの簡単な割合による比較の仕方考えた、それらを日常生活に生かしたりしている。		①小数の倍について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。	

小単元	1	2	3	4	5	6	7
	小数の倍					まとめ	単元末テスト
目標	2量の関係について、基準量を変えると倍を表す数が変わることを押さえ、倍の意味の理解を深める。 (教科書P.64~65)	比較量、基準量が小数の場合も、倍を求めるときは除法を用いればよいことを、図や式を用いて考え、説明する。 (教科書P.66)	小数倍の意味について、図や式を用いて考え説明し、倍の意味の理解を深める。 (教科書P.67)	倍を表す数が小数の場合基準量を求めるときは□を用いて乗法の式に表し、基準量を求める。 (教科書P.68)	倍を表す数が小数の場合も、倍を使った比較の仕方考え、説明する。 (教科書P.69)	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値付ける。	

毎時の評価規準 (○指導に生かす評価 ●記録に残す評価 ※①②は単元の評価規準を参照)

知識・技能【知】	① ●2量の関係について、基準量を変えると倍を表す数が変わることを理解している。	② ○比較量、基準量が小数の場合でも、倍を求めるには除法を用いれば良いことを理解し、倍を求めることができる。	① ○整数倍と小数倍の意味を統合的に理解している。	② ●倍を表す数が小数の場合も、未知数を□として数量の関係を乗法の式に表し、基準量を求めることができる。		② ●単元で学習したことを基に、問題を解決することができる。
思考・判断・表現【思】		① ○2量の関係に着目して、比較量、基準量が小数の場合の倍の求め方を図や式を用いて考え、説明することができる。	① ○2量の関係に着目して、小数倍の意味について図や式を用いて考え、説明することができる。		① ●既習を基にして、割合による比較の仕方考え、説明することができる。	① ●数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。
主体的に学習に取り組む態度【主】					① ○割合で比べる方法を日常生活の場面で活用しようとしている。	① ●単元の学習を振り返り、価値付けたり、今後の学習に生かそうとしていたりしている。

学習の流れ(目安:分)と学習形態(★前時に課した家庭学習との関連、※デジタルドリル活用 △教科書の問題番号)

家庭学習時間	※A1ドリル(5年5-4)	※共通ドリル(5年5-22)	※共通ドリル(5年4-23)	※共通ドリル(5年4-24)	※共通ドリル(5年5-23)	※共通ドリル(5年5-25)	※A1ドリル(5年5-5)
0	①<既習内容の確認> 差や倍で大きさを比べてきたことを振り返り、倍の意味を確認する。	一斉	①<★前時の確認> (習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	一斉	①<★前時の確認> (習熟タイムや家庭学習で、つまづきが見られた問題)	一斉	①《パフォーマンス課題》 第1時で提示された課題を再度把握する。 ②《パフォーマンス課題》 多機能ペンが一番お得に買えるお店を、根拠を持って判断する。【思・ルーブリック評価】
5	②《パフォーマンス課題》 提示された課題を把握する。	個別・協働	②数直線に表した基準量と比較量の大小関係を基に、比較量を求める。	②基準量と比較量の大小関係を考え、数直線に表す。	個別	②元の値段と割引後の値段を、差で比較し、検討する。【主】	
10	③基準量を変えて、それぞれ倍で表す。						
15	④基準量を変えると倍を表す数が変わることをまとめる。	個別・協働	④小数倍についてまとめる。	④倍を表す式の意味を、図や式を用いて考え、説明する。【思】	個別・協働	④答えが表す数の意味を考える。	
20							④小倍数についてまとめる。
25	⑤適用問題に取り組む。【知】 教科書P.65△1	一斉	⑤習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ3<意味付け> <概念形成><活用問題> <問題づくり><探究活動> から適切なものを設定する。	⑤適用問題に取り組む。【知】 教科書P.68△2	個別	⑤習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 ※共通ドリル(5年5-24) ・ステップ2	②即時返却された結果を確認し、解説も参考にしながら誤答箇所の直しを行う。 ※A1ドリル(5年5-まとめ)を家庭学習とする。
30	⑥習熟タイム ・ステップ0 ・ステップ1 ※共通ドリル(5年4-22) ・ステップ2	個別・協働					
35			⑤<単元の振り返り>【主】	個別	⑤<振り返り>		
40	⑤<単元の振り返り>【主】	個別				⑤<振り返り>	
45							